

保育所「第1回むし歯予防教室」

6月から7月にかけて、全村の学校、保育所で指導を行いました。

佐井村の歯科保健指導は保育所と各小・中学校で学年ごとにそれぞれの発達段階に合わせ、歯科の知識を実践を通じて学んでいきます。この指導の目的は口や歯の健康、機能を保つことにより生涯にわたりおいしく食べられ、健康な生活が送れるようにすることだと考えています。

保育所では7月25日(木)に第1回むし歯予防教室を行いました。

紙芝居を用いて、むし歯になる原因や、大きな歯の模型で歯垢の性質について学び、歯磨きの仕方について実習を行いました。

最後に雲丹(うんたん)が応援に駆けつけてくれて、4つのお約束をしました。




病院だより

大間病院

内科医長 二部 悦也

「病院見学会を通して」

みなさん、夏の暑さが少しずつ和らいでいる今日この頃、いかがお過ごしでしょうか？ 私は季節などあまり関係なく、まだ半袖・短パンを愛用しており、いつもすみっコさんと戯れています。そんなことはさておき、近年行っている大間病院での取り組み、“病院見学会”についてこの場を借りてご報告させていただきます。

大間病院の病院見学会は、2017年度から当院で始めた試みです。きっかけは「下北地区の北通りのみなさんに当院のことをより知ってほしい」という、一人のぼやき(誰かは突き詰めでください)です。開催時期は3か町村の小中学生の夏季休業に合わせ、参加希望者を当院へ招き、医師や看護師の体験、大間病院の見学を行っています。毎年多くの小中学生と保護者の方が参加され、今年度は合計19名の小中学生とその保護者が参加されました。内容は

検査室やレントゲン室、リハビリテーションの部屋などの病院内の見学、聴診器の使い方や血圧測定体験、超音波機器などの医療機器の使用などを行っています。毎年、内容は変化しているため、昨年度の参加者も飽きずに参加できるようなラインナップとなっています。最後には参加者へ修了証の贈呈を行っており、小中学生にとってはひと夏の思い出ができればと考えています。アンケートには楽しんでいただけたこと、また来年も参加したいなどの希望などをいただいております。

つい先月に終了した今年度の病院見学会ですが、また来年も開催予定です(あくまで個人的な意見であり、予定です…)。大間病院に興味があったり、将来、医療職に就きたいと考えていたりする小中学生やその保護者の方はぜひご参加ください。既に来年度の話で早い気がしますが、みなさんのご参加を切にお待ちしております。